



「保険でより良い歯科医療を」 愛知連絡会ニュース

「保険でより良い歯科医療を」
愛知連絡会

〒466-8655
名古屋市昭和区妙見町19-2
愛知保険医会館内
TEL ; (052) 832-1349
FAX ; (052) 834-3584

「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」 現在3万筆を集約！ 目標6万筆に向け、更なる大奮闘を！！

「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」は10月後半に入って、ようやく3万筆を超え、目標の半数に達したところです。一昨年の同時期をやや上回るどころまできました。目標達成に向けて、残る1カ月余り、更なる大奮闘をお願いします。

<世話人団体の取り組みの様子>

10月19日の世話人会で、世話人団体の取り組み状況を交流しました。

○目標とした3000筆はやりきろうと意思統一をしている。患者さんは一回り

したので、保育園などに頼んでいる。(北)

○医院の表にポスターを貼りだした。これから力を入れて行きたい。(は)

○渡しっぱなしでは回収できないので、顔を見てお願いして、できるだけその場で回収するようにしている。(ア)

○絵手紙カレンダーと一緒に送ってもう一山作りたいたいと思っている。(大)

工夫を凝らして、目標達成まで、もう一回り二回り取り組みを進めましょう。

10月24日現在の署名集約状況

より良い連絡会 30,972筆

目標達成率 51.62%

○連絡会 731筆

○民医連 6,119筆

○保険医協会 24,122筆

11月28日(木)

署名提出集会・国会の議員会館で開催します。是非ご参加下さい。

※手持ちの署名は早めに提出して下さい。

子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願署名は、学童保育連絡協議会から4,000筆の協力があり、1万筆を超えました。ご協力ありがとうございました。

イ イ ハ テ ー 街 頭 宣 伝

とき 11月10日(日)

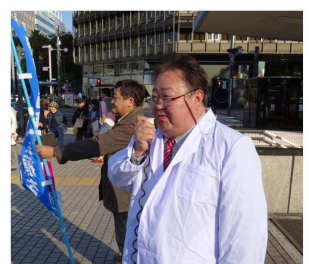
AM10:30~11:30

ところ 丸栄スカイル前(予定)(中区栄)

連絡会では「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」への協力を市民に呼びかける街頭宣伝を行います。

歯科医療関係者みんなで、患者窓口負担軽減、保険給付範囲の拡大、歯科医療費増額の必要性を訴えましょう。スペースが確保できれば、歯科医師による歯の健康相談や咀嚼力測定用ガムによる簡易咀嚼力チェックなどのコーナーも設けます。

こぞってご参加・ご協力下さい。



一昨年の街頭宣伝の様子

<<<<<<健康講座>>>>>>>>> 東海アレルギー連絡会 フッ化物の注意点について

9月21日（土）の午後、東海アレルギー連絡会の依頼で中村区生涯学習センターで開催された学習会に大藪憲治副会長を講師派遣しました。テーマは「フッ化物塗布にあたっての注意点」。参加はアレルギー支援ネットワークの8団体9人。

大藪副会長はう蝕予防に塗布するフッ素にはカゼインナトリウムが含まれているため、乳製品のアレルギーがあると症状が出ることがあるなどを紹介し、意見交

換しました。参加者から「キシリトール入りのガムは何がおすすめか」「フッ素のタブレットでも予防には有効か」「1歳すぎても噛めない子はどうすればよいか」などの質問が出されました。

連絡会では、市民向けにむし歯や歯周病、お口の健康などについて出前講話・講師派遣を行っていますので、お気軽にご相談ください。

あいち高齢者大会 口腔機能低下の予防で、 高齢になっても健康を維持

10月16日（水）あいち高齢者大会が名古屋市公会堂で開催され、午後の分科会で大藪副会長が、「より良く食べるは、より良く生きる」をテーマにお話をしました。

大藪副会長は、高齢になって身体が疲弊して元気がな

くなる原因の一つに「口の衰え（口腔機能低下）」があることを話し、ブラッシングや簡単な口の体操で予防することの重要性を、実践を交えながら解説しました。32人の参加があり、署名は大会全体で181筆の協力がありました。



宮城連絡会 「結成総会・記念講演」を開催

10月5日（土）、「保険でより良い歯科医療を」宮城の会（以下、宮城の会）結成総会が仙台市で開催されました。当日は、記念講演で足立了平氏（神戸常盤大学短期大学部特命教授・ときわ病院歯科口腔外科部長／兵庫協会副理事長）が「健康は健口から～お口のケアはあなたの命を守ります」のテーマでお話されました。

連絡会の結成・加盟は、宮

城の会で全国11番目。宮城の会の賛同団体は14団体で、歯科技工士会、歯科技工学校、消費（市民）生協をはじめ多彩な顔ぶれとなっています。

愛知から江原会長が参加しましたので、感想をよせていただきました。

＜全国の連絡会＞
東京、千葉、愛知、長野、兵庫、大阪、大分、京都、山梨、三重、宮城

「保険でより良い歯科医療を」宮城の会結成総会に参加して驚いたのは、参加団体の多彩な顔ぶれとパイプの強さです。福島生協と合併し県下の7割の会員数を誇るみやぎ生協の全面アップ、県下の婦人・年金者、教職員組合など民主団体、技工士学校や技工士会など14団体です。

しかも世話会はその団体の責任者が参加しています。震災前後より地道な粘り強い運動の成果と感じました。結成より13年、愛知も参加団体との懇談会など、初心を思い出す取り組みが必要と感じました。（江原雅博）

歯のなんでも電話相談

10月8日 イレバデーに実施

10月8日（火）の午後、保険医会館3階で「歯のなんでも電話相談」を開催しました。

市民からの相談は「クラウンをかぶせたが、だんだん痛みが出てきて、作り直したい」「娘のむし歯が欠けて歯科医院で詰めてもらったが、熱いものや冷た

いものが凍みる」などの、日頃の歯の悩みや治療についての相談がよせられました。事前に中日新聞に告知はされていたが、相談は思いの外少ないものでした。江原会長、大藪副会長、保険医協会の菌田先生、北生協歯科の森先生が相談にあたりました。

